

豊かな心でやりぬく子の育成「思いやる子（ニコニコ）考える子（キラキラ）やりぬく子（グングン）」

あいおい

相生小学校 学校だより

令和3年度 6月号

「自然体験研修」5年

校長 武藤 哲文

5年生は、6月8日9日に宿泊研修を行う予定でした。しかし、コロナのまん延防止等重点措置実施の期間中でしたので、宿泊を中止しただけでなく、9日の研修を7月に延期することとしました。

5年生の児童は、この研修を大変楽しみにしていただけに、とても残念でした。ただ、8日の研修内容の「下駄作り」と「くむんだー」の主な2つは、予定通りに実施しました。

下駄作りでは、まず市の林務課の方に、森林保全の講話をしていただきました。その後、観光課の方から下駄の作り方を学び、マイ下駄作りに挑戦しました。くむんだーでは、東乙原の兼定裕嗣さんから日本の伝統的な建築技法について講話を聞き、ジャングルジムづくりに挑戦しました。ヒノキ材を組み合わせ、それに又キと呼ばれる横材を差し込んで釘を使用しないで、みんなで協力して作り上げました。

この研修では、国産木材の良さを感じながら、オリジナルの下駄を完成させたり、夢中になって制作したりできました。



下駄作りの様子



くむんだーの様子

読み聞かせ ボランティア

25日に「読み聞かせ」を行いました。保護者有志の方10人が、1～3年の学年別に行ってくださいました。大型絵本「にじいろのしまうま」などの素敵なお話を読み聞かせてくださいました。どの学年の子どもも、とても興味深く聞きいって、「楽しかった」と感想を述べていました。

どうもありがとうございました。



読み聞かせの様子

引き渡しのお礼

18日に、ひかりの丘子ども園と相生小学校、八幡西中学校の3つが合同で、非常変災を想定した下校時の引き渡し訓練を行いました。保護者や地域の方のご協力により、無事に終えることができました。

西乙原地区の方には、交通規制にご協力を、また、交通指導員や見守り隊の方には、交通整理をお願いしました。多くの方からご支援いただき、誠にありがとうございました。



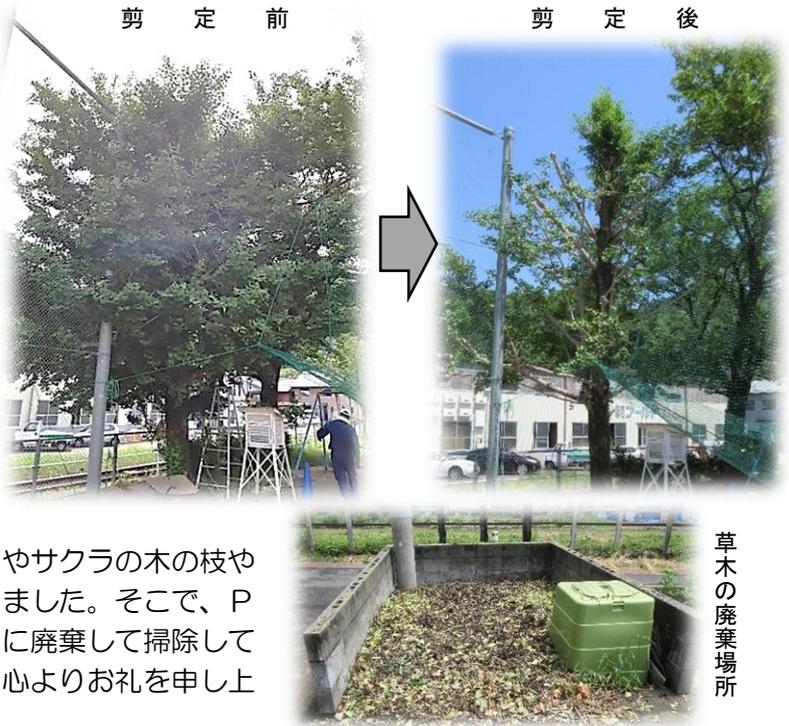
引き渡しの様子

イチョウとサクラの木の剪定

運動場の南東にあるイチョウとサクラの木が大きく育ち、枝が密集していました。そこで、井森宗吉さん（元八幡西中学校長）と郡上電気さんが、ボランティアで剪定を行っていただきました。

おかげで、どちらの木も枝ぶりがすっきりしました。これらの木の陰になっていたブランコにも日差しがさしこむようになりました。例年、秋には大量の落ち葉がブランコの周りにたまって、遊びや掃除の際に、とても大変でしたが、これで、安全で安心して遊ぶことができます。どうもありがとうございました。

また、剪定の際に、たくさんのイチョウやサクラの木の枝や葉がたくさん出て廃棄場所が、満杯となりました。そこで、PTAの武藤剛会長と武藤章弘顧問が、休日に廃棄して掃除していただきました。すっかりきれいになり、心よりお礼を申し上げます。



草木の廃棄場所

HUG <6年> 5/28

岐阜大学の岩井慶次（防災士）さんが、「避難所での生活や運営」について、講義していただきました。

避難所の生活をイメージしたりその利用の際に配慮すべきことを学んだりできました。避難者には、いろいろな立場の人がいることを考えて、運営することが大切であると、気づくことができました。



DIG <5年> 6/21



「郡上市土砂災害ハザードマップ」を基にして、自分が住んでいる地区の身近には、どんな危険地帯があるかを地図上で確認しました。そして、災害時には、どんな行動をとるとよいのかを、講師の方から学ぶことができました。

租税教室 <6年> 5/31



長尾信幸（中濃法人会・本校PTA副会長）さんが、税金について、講義していただきました。

税金のいろいろな種類や税金は自分たちの生活がより豊かになるように使われていることを学ぶことができました。イラストを使い、クイズ形式で分かりやすく説明していただきました。

連れ去り未然防止教室 <1・4年> 6/25

「連れ去り未然防止教室」を、県警察本部生活安全部少年課のタンポポ班に行っていただきました。知らない人について行くと危険であることや声をかけられてもついて行かないこと、連れて行かれそうになったときは、どんな対応をすればよいかなど、劇を入れながら教えていただきました。

